

	事 例	対 処 と 考 え 方
1	スコアが分からなくなった。	両選手が合意できなかったポイントは取り消し、合意出来たポイントをたして再開する。
2	レシーブのサイドを間違えてプレーしてしまった。	このゲームは間違えたまま続ける。次のレシーブゲームで正しいサイドに修正する。
3	サーバーの順番を間違えてしまった。	気づいた時に本来のサーバーに変わる。ゲームが終了していた場合は入れ替わったまま行う。 ※タイブレークで間違いに気づいた時偶数ポイントが終わった後で気づいた場合は直ちに正しい位置に戻し、奇数で終わった後で気づいた場合は入れ替わったままで行く。
4	サーバーが間違えたエンドでサーブをしてしまった。	直ちに間違いを訂正し、スコアに応じた正しいエンドからサービスする。
5	第2サーブのモーションに入った後に、ボールが入ってきた。	プレーが妨害されたとして第1サーブからポイントをやり直す。
6	対戦相手がアウトのジャッジに不満でボールマークを要求してきた。	ボールマークチェックはクレーコートのみ、オムニコートではボールマークチェックは出来ない。 ボールの着地点とラインとの間に明らかなスペースがあればアウト。無い場合はイン。
7	プレー中、プレーヤーのラケット（身体、ウェア、靴等）がネットに触った。	ネットに触ったプレーヤー・チームの失点。
8	エンドチェンジを忘れ次のゲームが終わってしまった。	直ちに間違いを訂正し、スコアに応じた正しいエンドからサービスする。
9	インプレー中に帽子やポケットのボールが自分のコートに落ちた。相手の選手がレットのコールをした。	1回目はポイントのやり直し。2回目以降は失点。
10	インプレー中に靴が脱げてしまった。	ラケットを落とす・シューズが脱げる事は妨害にはならない。
11	ミスジャッジをRUがコート外からオーバールールした。	そのボールが正しく相手コートに入った場合、
12	ファーストサービスをフォールトとコールしたがインに訂正した。	1回目は、相手への故意ではない妨害としてポイントレット。2回目以降は故意に妨害したとして失点。 但しミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エース又は返球がアウトした場合は相手への妨害が起っていないので、1回目であってもミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点
13	ボールが隣のコートから入ってきたのでレットとコールした。	レットをコールされる前に打たれたボールがコートに正しく入った場合はポイントのやり直し、アウトだったらレットに関係なく失点。レットをコールした後に打たれたボールはイン・アウトに関係なくポイントのやり直し。 但しレットがコールされる前に打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。

ロービングアンパイアを呼んでください

- 相手のジャッジに不満
- 相手選手のポイント間が長い
- 対戦相手がフットフォールトしている
- 足がつってリタイアしたい
- トイレに行きたい
- ガットが全部切れたのでラケットをコート外まで取りに行きたい
- 飲物がなくなったので買って欲しい
- コンタクトレンズを落としてしまった

セルフジャッジの5原則

テニスに関わる全ての皆様、スポーツマンシップにのっとったフェアな試合環境を守るためご理解とご協力を！

- 1 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）
- 2 「アウト」「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき
- 3 サーバーがサーブを打つ前にレシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに
- 5 コートの外の人セルフジャッジへの口出しはしない